

魚沼地域定住自立圏 平成30年度 事業振返りシート 目次

ページ	事業番号	事業名	共生ビジョン 対応ページ
1 ~ 2	111	地域医療連携推進事業	(53)
3 ~ 4	121	図書館の相互利用事業	(55)
5 ~ 6	122	スポーツ施設及びクラブの相互利用事業	(56)
7 ~ 8	123	文化施設の相互利用事業	(57)
9 ~ 10	124	公民館講座の相互利用事業	(59)
11 ~ 12	131	産官学連携事業	(61)
13 ~ 14	132	圏域観光情報窓口事業	(63)
15 ~ 16	1311	定住自立圏へのU・I・Jターン就職希望者募集事業	(ー)
17 ~ 18	141	廃棄物処理施設広域化事業	(67)
(1) 19 ~ 20	142	し尿等受入処理施設広域化事業	(68)
21 ~ 22	143	斎場の相互利用事業	(71)
23 ~ 24	144	消費生活相談体制の強化事業	(73)
25 ~ 26	1511	有機センターの相互利用事業	(ー)
27 ~ 28	1512	鳥獣害対策事業	(ー)
29 ~ 30	161	木質バイオマス発電事業	(65)
31 ~ 32	1611	木質バイオマス利用促進事業	(ー)
33 ~ 34	1711	消防相互応援協定について	(ー)
35 ~ 36	1712	防災対策活動推進事業	(ー)
37 ~ 38	1811	圏域内U・I・Jターン促進事業	(ー)
39 ~ 40	1911	子育て拠点施設の相互利用	(ー)
41 ~ 42	281	路線バス支援事業	(75)
(2) 43 ~ 44	282	婚活支援事業	(77)
45 ~ 46	2811	広報活動推進連携事業	(ー)
(3) 47 ~ 48	381	職員の人材育成のための合同研修	(79)
49 ~ 50	3811	移住・定住・地域交流総合プロデューサー人材育成	(ー)

(1)…生活機能の強化に係る政策分野

(2)…結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

(3)…圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

平成30年度[魚沼地域定住自立圏]事業振り返りシート

平成30年度	事業番号 111	事業名	地域医療連携推進事業
---------------	-------------	-----	------------

① 事業概要

・魚沼地域の医療再編に伴い、地域完結型医療体制の整備が完了するため、今後は、医療体制の役割分担と連携、医療と介護の連携などが機能的に動くような取組が不可欠となる。医療機能と地域包括ケアを有機的に機能させるため、地域医療連携推進協議会の設置を目指し、連携を進める。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

・専門部署の設置が必須である。医療関係者が参加していない。
 ・医師会の範囲が異なり、各団体の利害関係もあることなので単純に一緒にやることは難しい。
 ・医療従事者（看護師）の確保の取組として給付型奨学金を開始する。4月から介護人材確保緊急支援事業補助金を創設し、年度途中で対象範囲の拡大により3名の申し込みがあった。

③ 「KPI」の現在把握値

コーディネーター雇用数	0 人	(備考)	
-------------	-----	------	--

④ 今年度に達成する事項 **⑤ 左記の実施状況** (A,Bいずれかを選択)

1	「地域医療連絡推進協議会」が魚沼地域定住自立圏において担うべき具体的な役割の整理	B	A…今年度中に完了 B…今年度中に完了せず
2	魚沼地域医療連携ネットワークシステム「うおぬま・米ねっと」の更新状況を注視して、ダブルスタンダードにならないよう「地域医療連絡推進協議会」との整合性を見極める。	B	
3	各市町の地域医療連携室の現状把握を行い、今後の方針を検討する。	B	
4	医療従事者、介護人材確保対策の具体化（病院指定管理者が実施する看護師修学資金貸与事業への補助金交付（魚沼市）、看護師修学資金貸与、介護人材確保策（南魚沼市）、町立湯沢病院の指定管理者と修学資金貸与事業等について検討、協議する。（湯沢町）	B	

⑥ *⑤「左記の実施状況」でBを選択した場合は要記載

	今年度中に完了しなかった理由	来年度に取組むべきこと（課題）
1	各市町が役割を整理し、それを共有する作業の時間が取れなかったこと。	どの程度まで完了できるのかの範囲を決めて現実的な取組を目指す。
2	「うおぬま・米ねっと」の更新状況の全容が明確になるのに時間を要したこと。	更新後（H31.4.1以降）の「うおぬま・米ねっと」の稼働状況を精査する。各事業所の意見も踏まえ検討する。
3	魚沼市は概ねの地域医療連携室の現状を把握できているが、湯沢町は連携室がない、南魚沼市は医療対策専門部署がないなど各市町で差があり、方針の整理というところまで具体的に取組めなかった。	本事業の実現に向け、地域医療連携室と連携して方針の整理を行いたい。各市町の医療機関における地域医療連携室やそれに相当する部署について現状を把握する。
4	南魚沼市：2019年度2名の看護師修学資金貸与を実施するが上限5名にはいたらなかった。 魚沼市：修学資金事業は実施したが、指定管理者の経営状況を踏まえ、補助金交付は見送った。 湯沢町：検討・協議する余裕がなかった。	指定管理者との情報交換は密に行っているが、これを拡大すると財源の問題が出てくる。進展させるかどうかの協議をまず行う。（湯沢町） 各市町独自で実施している医療介護人材確保について共同で取り組む効果を明確にする。

⑦ 事業実現までの進捗状況 (1～4のうちいずれかを選択)

2	4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している 3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階 2…関係者を含めた調整段階 1…構想段階、検討段階であり事業実施の目途は立っていない
----------	---

⑧ (あれば記載) 事業を進める上での阻害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

・来年度更新を迎える「うおぬま・米ねっと」との関係性が重要で、その動向を見極める必要があると思う。
 ・地域支援事業で在宅医療介護連携事業が進められているため、二重に事業を行うことがないように整理する必要がある。

⑨ 事業の実現可能性について（いつ頃の完了を見込んでいるのか、困難度は）（1～4のうちいずれかを選択）

3	4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる（or既に実現している） 3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる 2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難 1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能
----------	---

【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3,4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか（実現したか）記載】
 現在、湯沢町、南魚沼市、魚沼市を含む魚沼圏域5市町で魚沼医療圏が構成されていて、救急医療等で連携している。来年度は「うおぬま・米ねっと」の更新も控え、協議を重ねてきた。加えて医療看護職員の確保定着の分野でも連携しているところで、地域医療連携は推進できる素地は十分にあり、実現する可能性はあると思われる。

⑩ 広域連携のメリットについて（1～4のうちいずれかを選択）

3	4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる（or既に連携が行われている。） 3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される 2…連携による効果が小さく、現行と大差がない 1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。
----------	---

【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】
 特に全国的に不足していると言われる医師と看護師の確保・定着について、各医療機関の持つ役割を十分考慮すればより進展すると思われ、相互にメリットがある。しかし医療介護人材確保ではそれぞれの事業所の考えや利害もあるため調整が必要になると思われる。

⑪ 人材育成の観点から（1～4のうちいずれかを選択）

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する（定住自立圏の場合は人材育成に有効） 3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている（定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある） 2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができていく（定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない） 1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない（定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない）
-----------------------	--

市町名		【1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】
南魚沼市	4	
魚沼市	4	
湯沢町	4	

⑫ 確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	保健課	課長	大平 藤男	
魚沼市	健康課地域医療対策室	室長	吉田 淳	
湯沢町	健康福祉部	部長	田村 雅和	

以下事務局記載欄

今後の進め方			
事務局案	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	・課題を再精査し、スケジュール感を明確にしたうえで、推進していく必要がある。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	

平成30年度[魚沼地域定住自立圏]事業振返りシート

平成30年度	事業番号 121	事業名	図書館の相互利用事業
---------------	-------------	-----	------------

① 事業概要

・地域住民への図書館サービスの拡充及び図書館資料の有効活用を図るため、現在、南魚沼市と湯沢町間で行っている図書館の相互利用を魚沼市にも拡大し、相互利用ができる体制を目指す。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

・各市町における、相互利用に向けて前進していく。

③ 「KPI」の現在把握値

図書館図書貸出冊数	7,031 冊	(備考) H29年度湯沢町図書室で南魚沼市民368冊利用 南魚沼市図書館で湯沢町民が6,663冊利用
-----------	---------	---

④ 今年度に達成する事項 **⑤ 左記の実施状況 (A,Bいずれかを選択)**

1	・9月の相互利用開始日に向けた、協定書や事務準備を進める	B	A…今年度中に完了 B…今年度中に完了せず
2	—		
3	—		
4	—		

⑥ *⑤「左記の実施状況」でBを選択した場合は要記載

	今年度中に完了しなかった理由	来年度に取組むべきこと (課題)
1	相互利用に関する準備不足で遅れてしまい年度内のスタートが切れなかった。	議会議決を経て、4月1日よりスタートする予定。

⑦ 事業実現までの進捗状況 (1~4のうちいずれかを選択)

3	4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している 3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階 2…関係者を含めた調整段階 1…構想段階、検討段階であり事業実施の目途は立っていない
----------	---

⑧ (あれば記載) 事業を進める上での阻害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

・
 ・
 ・

⑨ 事業の実現可能性について（いつ頃の完了を見込んでいるのか、困難度は）（1～4のうちいずれかを選択）

4	4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる（or既に実現している） 3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる 2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難 1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能
【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3,4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか（実現したか）記載】	
南魚沼市と湯沢町はすでに相互利用の協定は締結済みであるため、南魚沼市、湯沢町共に魚沼市と協定を締結する。各市町で3月議会に上程する予定。	

⑩ 広域連携のメリットについて（1～4のうちいずれかを選択）

4	4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる（or既に連携が行われている。） 3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される 2…連携による効果が小さく、現行と大差がない 1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。
【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】	
魚沼地域住民にとって利便性が高く、資源の有効活用が期待できる。	

⑪ 人材育成の観点から（1～4のうちいずれかを選択）

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する（定住自立圏の場合は人材育成に有効） 3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている（定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある） 2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができている（定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない） 1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない（定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない）
市町名	【1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】
南魚沼市	3
魚沼市	4
湯沢町	3

⑫ 確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	教育部	部長	平賀 重朗	
魚沼市	教育委員会	次長	堀沢 淳	
湯沢町	子育て教育部	部長	高野 剛	

以下事務局記載欄

今後の進め方			
事務局案	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	・相互利用についての住民周知を進めていくとともに、KPI達成のための新規取組を検討する必要がある。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	

平成30年度[魚沼地域定住自立圏]事業振返りシート

平成30年度	事業番号 122	事業名	スポーツ施設及びクラブの相互利用事業
---------------	-------------	-----	--------------------

① 事業概要

・地域住民へのスポーツ施設の有効活用を図るため、現在、南魚沼市と湯沢町間で行っているスポーツ施設の相互利用を魚沼市にも拡大し、相互利用ができる体制を目指す。
 ・総合型スポーツクラブの広域的な情報提供や講座を共同開催する。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

・現在スポーツ講座は外部団体が企画運営を行っており（魚沼市）、行政の側から共同講座の開催を推し進めることは難しく、施設共同利用について南魚沼地域と魚沼市とでは減免の基準が異なっている。当面は相互利用の協定を改めて結ぶに当たって生じる課題の洗い出しと、指定管理者とのすり合わせを行っていく必要がある。

③ 「KPI」の現在把握値

(未定)	—	(備考) (湯沢町施設の南魚沼市民の利用はほぼなし。)
------	---	--------------------------------

④ 今年度に達成する事項 **⑤ 左記の実施状況** (A,Bいずれかを選択)

1	・相互利用の協定を改めて結ぶに当たって生じる課題の洗い出し	A	A…今年度中に完了 B…今年度中に完了せず
2	・指定管理者とのすり合わせ	B	
3	・魚沼市の指定管理者から意見・協議依頼があれば、湯沢町・南魚沼市も指定管理者との協議	B	
4	—		

⑥ *⑤「左記の実施状況」でBを選択した場合は要記載

	今年度中に完了しなかった理由	来年度に取り組むべきこと（課題）
2	魚沼市の指定管理者から意見徴収は行ったが、利用調整の困難さや相互利用は不適切との意見もあり、すり合わせまでに至らなかった。	協定内容の再検討を行い、メリット・デメリットを明確にしたうえで、指定管理者へ改めて説明を行い、すり合わせを行う必要あり。
3	協議の前に、改めて協定内容の検討が必要。	上記を踏まえ、湯沢町・南魚沼市の指定管理者と協議を行う。

⑦ 事業実現までの進捗状況 (1~4のうちいずれかを選択)

1	4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している 3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階 2…関係者を含めた調整段階 1…構想段階、検討段階であり事業実施の目的は立っていない
----------	---

⑧ (あれば記載) 事業を進める上での阻害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

・スポーツ施設の相互利用について、南魚沼郡市内の施設を郡市内の住民が利用する際、同一の減免基準が適用されるが、魚沼市が加わることによって、減免対象の範囲が広がって良いか？これにより、指定管理者の収入にも影響するため、指定管理料の増額まで必要か？

⑨ 事業の実現可能性について（いつ頃の完了を見込んでいるのか、困難度は）（1～4のうちいずれかを選択）

2	4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる（or既に実現している） 3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる 2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難 1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能
----------	---

【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3,4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか（実現したか）記載】

利用に関し多くの規定が異なるため、調整に時間を要する。利用者ニーズを把握するために、住民に対しアンケート調査を実施するなど、相互利用の必要性についても改めて検討すべきと考える。（魚沼市）
 スポーツ施設の相互利用について、各市町の減免基準と圏域市町が他市町の施設を利用する際の減免基準の調整が必要、スポーツ施設は指定管理者が運営しているため、減免範囲が広がることで指定管理者の収入への影響もある。（湯沢町）

⑩ 広域連携のメリットについて（1～4のうちいずれかを選択）

2	4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる（or既に連携が行われている。） 3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される 2…連携による効果が小さく、現行と大差がない 1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。
----------	---

【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】

魚沼市の利用者(住民)は、ほとんど市内の体育施設で足りている状態。団体(学校含む)利用が多く、自己の施設を利用する場合に地元住民が優先されるのであれば、効果はあまりないと考える。現在でも地元住民から、市外利用者がいるために施設を利用できないと苦情が寄せられる。また、市外料金を徴収することができないため、特に指定管理施設については利用者が増加しても収入増に繋がる可能性は低い。（魚沼市）
 スポーツ施設の相互利用について、減免基準の相違から減免を適用しなかった場合、現状と大差がない。
 また、減免の細分化（市民は1/2、圏域市民は3/4など）まで検討し、予約が空いている施設を有効に活用できるならば、メリットも考えられるが、現状でも南魚沼市湯沢間の相互利用はほぼないことから、減免が少なく使用料の負担が多くなる他市町施設の利用は考えにくい。また、合宿誘致に利用する民宿については、減免対象外であるため、現状と変わらない。（湯沢町）

⑪ 人材育成の観点から（1～4のうちいずれかを選択）

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する（定住自立圏の場合は人材育成に有効） 3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている（定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある） 2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができている（定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない） 1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない（定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない）
-----------------------	--

市町名		【1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】
南魚沼市	3	
魚沼市	3	
湯沢町	3	

⑫ 確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	生涯スポーツ課	課長	長谷川 誠	
魚沼市	生涯学習課社会体育係	次長	堀沢 淳	
湯沢町	子育て教育部	部長	高野 剛	

以下事務局記載欄

今後の進め方			
事務局案	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	・課題を再精査し、現状制度のなかで、広域連携のスケールメリットを活かせる取組を検討していくこと。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	

平成30年度[魚沼地域定住自立圏]事業振返りシート

平成30年度	事業番号 123	事業名	文化施設の相互利用事業
---------------	-------------	-----	-------------

① 事業概要

・地域住民への文化施設の有効活用を図るため、現在、南魚沼市と湯沢町間で行っている文化施設の相互利用を魚沼市にも拡大し、相互利用ができる体制を目指す。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

・南魚沼市と湯沢町の間では既に「南魚沼地域市町村圏域構成市町の公の施設の相互利用に関する協定」が締結されている。現在も魚沼ホール協会を通じてチケットの販売や機材の相互利用を行っている。魚沼市は指定管理者を導入してから2年度目で、運営や減免のあり方について検証を行っている。

・施設利用に際する減免制度及び、減免分の指定管理者補填割合が南魚沼地域と魚沼市では基準が異なっており、財源確保の面から、同協定を魚沼市に拡大することは難しい。減免部分を適応外とし、南魚沼地域と魚沼市で新たな利用協定を締結することで検討。

・南魚沼市民会館については、H31年3月31日で現指定管理者への指定管理期間が終了となるため、12月議会で決定する新指定管理者との協議すり合わせを要する。

③ 「KPI」の現在把握値

(未定)	—	(備考)
------	---	------

④ 今年度に達成する事項 **⑤ 左記の実施状況** (A,Bいずれかを選択)

1	・南魚沼地域（南魚沼市、湯沢町）と魚沼市が新たに協定を結ぶにあたって生じる課題の検証	A	A…今年度中に完了 B…今年度中に完了せず
2	・指定管理者への説明、すり合わせ協議	B	
3	—		
4	—		

⑥ *⑤「左記の実施状況」でBを選択した場合は要記載

	今年度中に完了しなかった理由	来年度に取組むべきこと（課題）
2	指定管理者への影響が大きいため	当該事業の再検討、必要に応じ指定管理者とのすり合わせ

⑦ 事業実現までの進捗状況 (1～4のうちいずれかを選択)

1	4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している 3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階 2…関係者を含めた調整段階 1…構想段階、検討段階であり事業実施の目的は立っていない
----------	---

⑧ (あれば記載) 事業を進める上での阻害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

南魚沼郡市内の施設を郡市内の住民が利用する際、同一の減免基準が適用されるが、魚沼市が加わることによって、減免対象の範囲が広がる。指定管理者の収入にも影響するため、南魚沼市・魚沼市では減免増分の指定管理者への補てん分を増額する必要がある。

減免基準の制約が大きい割には、利用者が見込めない。

減免基準が異なるため、現状では各市町で財政負担の不均衡が生じる。

⑨ 事業の実現可能性について（いつ頃の完了を見込んでいるのか、困難度は）（1～4のうちいずれかを選択）

3	4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる（or既に実現している） 3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる 2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難 1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能
----------	---

【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3,4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか（実現したか）記載】

各市町の減免基準と圏域市町が他市町の施設を利用する際の減免基準の調整が必要。文化施設は指定管理者が運営しているため、減免範囲が広がることで指定管理者の収入への影響もある。

⑩ 広域連携のメリットについて（1～4のうちいずれかを選択）

2	4…市町単独で行うより連携の方が全体的な効果が期待できる（or既に連携が行われている。） 3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される 2…連携による効果が小さく、現行と大差がない 1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。
----------	--

【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】

減免基準の相違から減免を適用しなかった場合、現状と大差がない。

湯沢町は、減免の細分化（市民は1/2、圏域市民は3/4など）まで検討し、予約が空いている施設を有効に活用できるならば、メリットも考えられるが、現状でも南魚沼市湯沢間の相互利用はほぼないことから、減免が少なく使用料の負担が多くなる他市町施設の利用は考えにくい。南魚沼市は、減免補填増の予算措置が必要。魚沼市は、予約が空いている施設を有効に活用できるならばメリットも考えられるが、現状でも魚沼市からの南魚沼市への相互利用はほぼなく、南魚沼市から魚沼市を利用している団体にとってはメリットであるが、施設使用料の減少が課題となる。

⑪ 人材育成の観点から（1～4のうちいずれかを選択）

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する（定住自立圏の場合は人材育成に有効） 3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場合は必要だと感じている（定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある） 2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができてきている（定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない） 1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない（定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない）
-----------------------	---

市町名 【1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】

南魚沼市	3	
魚沼市	3	
湯沢町	3	

⑫ 確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	社会教育課	課長	佐藤弘	
魚沼市	生涯学習課	課長	星敏夫	
湯沢町	子育て教育部	部長	高野剛	

今後の進め方

事務局案	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	・課題を再精査し、現状制度のなかで、広域連携のスケールメリットを活かせる取組を検討していくこと。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	

平成30年度[魚沼地域定住自立圏]事業振返りシート

平成30年度	事業番号 124	事業名	公民館講座の相互利用事業
---------------	-------------	-----	--------------

① 事業概要
・各市町で開催する講座について、相互に受け入れを行う。

② 現状・事業の進行にあたっての課題
<p>・公民館講座は基本的には市内在住、在勤者を対象としており、それぞれ市の予算で運用している。他市町からの参加者を積極的に受け入れることが難しい。あらかじめ定住圏事業として予算化されていれば、受け入れることは可能であるが、周知等について、広報誌の活用が一番効果的と考えるが、発行日の違いによる情報提供の調整が難しい。(南魚沼市)</p> <p>・企画した講座が他市の方で占有してしまうと、主催市町として問題がある。告知の時期をずらすなど対応が必要。一方、人数を多く集めたい講座では、他市町からの参加は有効であるとともに、受講できる住民にとってもサービスの拡大につながる。講座運営には市町の予算が絡むこととなり、他市町民の参加について財政サイドの理解が必要。予算要求時までに事業の企画まで進まず、予算確保はされていない。(湯沢町)</p> <p>・講座情報の発信方法についての取り決め?(魚沼市)</p>

③ 「KPI」の現在把握値			
各市町開講講座への他市町からの参加者数	54 人	(備考)	(※担当課集計)

④ 今年度に達成する事項	⑤ 左記の実施状況 (A,Bいずれかを選択)
1 ・可能な限り、定住自立圏の事業を取り入れ、啓発・周知を行う。次年度以降は定住自立圏事業として位置づけが必要と考える。(南魚沼市) 県のララネット活用を行う。	A
2 ・4月募集の長期講座では、町内で募集後、受講に余裕があった場合、他市参加可能とした。これから実施する短期講座では、必要に応じ、他市からの受講生を受け付ける。(湯沢町)	A
3 ・同一条件での受講体制の確立、各市町の講座情報発信。(魚沼市)	A
4 ・県のララネット活用を行い、周知啓発を行う。定住自立圏のマーク活用も併せてチラシなどに随時入れて活用する。圏域内の参加者については、可能とする。	B

A…今年度中に完了
B…今年度中に完了せず

⑥ *⑤「左記の実施状況」でBを選択した場合は要記載				
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="width: 50%;">今年度中に完了しなかった理由</th> <th style="width: 50%;">来年度に取り組むべきこと(課題)</th> </tr> <tr> <td>4 ララネットは県内全域の募集であるため、今のところ活用していない。(湯沢町)</td> <td>ララネットの活用方法を検討する。</td> </tr> </table>	今年度中に完了しなかった理由	来年度に取り組むべきこと(課題)	4 ララネットは県内全域の募集であるため、今のところ活用していない。(湯沢町)	ララネットの活用方法を検討する。
今年度中に完了しなかった理由	来年度に取り組むべきこと(課題)			
4 ララネットは県内全域の募集であるため、今のところ活用していない。(湯沢町)	ララネットの活用方法を検討する。			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※担当者集計内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月29日ふれ愛支援センターにて「にいがた連携公開講座～ポジティブ心理学」の開催 魚沼市3名、湯沢1名 ・12月1日「さわらび」にて定住自立圏事業(商工観光課)として「消費者問題講演会」を開催 施設相互利用 魚沼市29名、湯沢町2名 ・平成30年度湯沢町講座 南魚沼市18人、魚沼市1人 </div>				

⑦ 事業実現までの進捗状況 (1~4のうちいずれかを選択)	
3	<p>4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している</p> <p>3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階</p> <p>2…関係者を含めた調整段階</p> <p>1…構想段階、検討段階であり事業実施の目的は立っていない</p>

⑧ (あれば記載) 事業を進める上での阻害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項
<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>

⑨ 事業の実現可能性について（いつ頃の完了を見込んでいるのか、困難度は）（1～4のうちいずれかを選択）

4	4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる（or既に実現している） 3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる 2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難 1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能
【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3,4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか（実現したか）記載】	

⑩ 広域連携のメリットについて（1～4のうちいずれかを選択）

4	4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる（or既に連携が行われている。） 3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される 2…連携による効果が小さく、現行と大差がない 1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。
【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】	

⑪ 人材育成の観点から（1～4のうちいずれかを選択）

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する（定住自立圏の場合は人材育成に有効） 3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている（定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある） 2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができています（定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない） 1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない（定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない）
市町名	【1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】
南魚沼市	2 2市1町担当者が参加する社会教育・生涯学習関係、公民館関係、人権啓発関係など隣接市町との職員交流の場は多くあり、十分な情報交換はできている。
魚沼市	3
湯沢町	2 2市1町担当者が参加する生涯学習関係、公民館関係、人権啓発関係など職員交流の場は多くあり、十分な情報交換はできている。

⑫ 確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	社会教育課	課長	佐藤 弘	
魚沼市	教育委員会	次長	堀沢 淳	
湯沢町	子育て教育部	部長	高野 剛	

以下事務局記載欄

今後の進め方			
事務局案	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	・相互利用についての住民周知を進めていくとともに、KPI達成のための新規取組を検討する必要がある。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	

平成30年度[魚沼地域定住自立圏]事業振返りシート

平成30年度	事業番号 131	事業名	産官学連携事業
---------------	-------------	-----	---------

① 事業概要

・国際大学と南魚沼市で行っている「地域産業支援プログラム」(ICLOVE)を圏域内の企業や事業所を対象に広げることで、地域産業の全体的な振興を図る。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

・各市町においても、それぞれ独自の創業支援事業に取り組んでいるため整合性を取るのが今後においても困難である。

③ 「KPI」の現在把握値

各種チラシの相互配布・周知数	0 件	(備考)
----------------	--------	------

④ 今年度に達成する事項 **⑤ 左記の実施状況 (A,Bいずれかを選択)**

1	・各種セミナーや研修などのチラシを各市町で相互に可能な範囲で周知し合う。	B	A…今年度中に完了 B…今年度中に完了せず
2	・産官学連携の勉強会として魚沼市、湯沢町と南魚沼市の担当で「国際大学視察ツアー」を検討する。	B	
3	—		
4	—		

⑥ *⑤「左記の実施状況」でBを選択した場合は要記載

	今年度中に完了しなかった理由	来年度に取り組むべきこと (課題)
1	ICLOVEの事業としては無理 (ICLOVE事業以外のセミナー等は実施していない)	ICLOVEの事業は、ICLOVEの規約の変更や国へ提出している創業支援計画の変更が必要になるので早期は困難。
2	大学側と自治体側の日程調整がうまくいかなかったため。	大学が9月から新年度が始まるため、11月頃の設定として考える。

⑦ 事業実現までの進捗状況 (1~4のうちいずれかを選択)

1	4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している 3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階 2…関係者を含めた調整段階 1…構想段階、検討段階であり事業実施の目的は立っていない
----------	---

⑧ (あれば記載) 事業を進める上での阻害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

・南魚沼市単独で行っているICLOVE事業そのものを、活性化させる方策を考えるほうが優先事項

・この事業は定住自立圏から削除してもらいたい。

⑨ 事業の実現可能性について（いつ頃の完了を見込んでいるのか、困難度は）（1～4のうちいずれかを選択）

2	4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる（or既に実現している） 3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる 2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難 1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能
----------	---

【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3,4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか（実現したか）記載】

まずは今後のICLOVE構想そのものを国際大学と話し合う必要があるが、現在担当している先生が退任予定であり、今後後任の先生が決まりしだい協議を始める予定だが、構成メンバー（商工会、金融機関、国際大学）がICLOVE事業にやや消極的であると感じているため、これ以上構成メンバーを増やしても混乱して事業そのものが進まなくなる可能性もあると考える。

⑩ 広域連携のメリットについて（1～4のうちいずれかを選択）

3	4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる（or既に連携が行われている。） 3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される 2…連携による効果が小さく、現行と大差がない 1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。
----------	---

【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】

⑪ 人材育成の観点から（1～4のうちいずれかを選択）

（2市1町ごとに下の欄へ記入してください）	4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する（定住自立圏の場合は人材育成に有効） 3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場合は必要だと感じている（定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある） 2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができている（定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない） 1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない（定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない）
-----------------------	---

市町名		【1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】
南魚沼市	3	
魚沼市	3	
湯沢町	3	

⑫ 確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	（あれば記載）備考・コメント
南魚沼市	商工観光課	課長	腰越 勝利	
魚沼市	商工観光課	課長	星野 隆	
湯沢町	企画政策課	課長	富沢 雅文	

以下事務局記載欄

今後の進め方			
事務局案	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	（備考）	・ICLOVEにとらわれず課題を再精査し、形成協定の実現に向け改めて取組める事業の検討が必要であるが、広域連携のメリットが見いだせなければ情報交換、人材育成の機会としてWGを残すかどうかを協議すること。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	（備考）	

平成30年度[魚沼地域定住自立圏]事業振返りシート

平成30年度	事業番号 132	事業名 圏域観光情報窓口事業
---------------	-------------	-------------------

① 事業概要

・越後湯沢駅内の広域観光情報センターを圏域の観光情報窓口とし、インバウンド観光にも対応した観光案内サービスを行う。また、観光メニュー（温泉など目的別観光案内）の開発や、SNS等にも関連情報として圏域観光情報を掲載する。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

・元々、上越新幹線越後湯沢駅内の広域観光案内所を圏域内の案内所として業務やサービスの拡大を図ることを協議しておりましたが、昨年後半から同じく上越新幹線浦佐駅の改修計画がJR東日本から働きかけがあり、急遽、南魚沼市と魚沼市とで広域観光案内所開設の検討に入った。案内所が開設された場合、自立圏の中でどう位置図けるか。
・広域観光情報センターの運営方法の検討にこだわり過ぎた。

③ 「KPI」の現在把握値

観光入込客数	人	(備考)
--------	---	------

④ 今年度に達成する事項 **⑤ 左記の実施状況** (A,Bいずれかを選択)

1	・提供する観光情報を観光パンフレットを基にした情報だけでなく、旬な情報、お得な宿情報、着地型旅行商品、観光地の写真なども情報提供できるように、各市町の情報を観光センターに送付する。	B	A…今年度中に完了 B…今年度中に完了せず
2	—		
3	—		
4	—		

⑥ *⑤「左記の実施状況」でBを選択した場合は要記載

	今年度中に完了しなかった理由	来年度に取り組むべきこと（課題）
1	業務多忙により実施出来なかった。	観光協会とも連携して取り組む必要がある。

⑦ 事業実現までの進捗状況 (1~4のうちいずれかを選択)

2	4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している 3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階 2…関係者を含めた調整段階 1…構想段階、検討段階であり事業実施の目途は立っていない
----------	---

⑧ (あれば記載) 事業を進める上での阻害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

・旅行者のうち訪日外国人の割合が増加しているため、多言語への翻訳が必要だが、適当な翻訳者がいない、または翻訳料が高額で、対応が難しい。

⑨ 事業の実現可能性について（いつ頃の完了を見込んでいるのか、困難度は）（1～4のうちいずれかを選択）

3	4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる（or既に実現している） 3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる 2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難 1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能
【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3,4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか（実現したか）記載】 ・案内所での案内の実情や旅行者の趣向を調査し、来年度後半には実現したい。	

⑩ 広域連携のメリットについて（1～4のうちいずれかを選択）

4	4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる（or既に連携が行われている。） 3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される 2…連携による効果が小さく、現行と大差がない 1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。
【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】 ・施設使用料を安価に抑えるには広域で取り組んだ方が良い。 ・近年は1泊程度の短期滞在から3泊程度の長期滞在へと、旅行者の趣向が変化し、それに伴って、1自治体内の滞在では満足を得られなくなっており、2、3自治体を周遊する滞在へと変わっているため、広域で連携して地域のPRを行った方が良い。	

⑪ 人材育成の観点から（1～4のうちいずれかを選択）

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する（定住自立圏の場合は人材育成に有効） 3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている（定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある） 2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができています（定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない） 1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない（定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない）
市町名	【1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】
南魚沼市	3 其々の観光案内所に関して協議会や検討委員会があり、その運営方法は別々であるが、観光情報を提供するうえで、職員の交流は必要と考える。
魚沼市	3
湯沢町	3

⑫ 確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	商工観光課	課長	腰越 勝利	
魚沼市	観光振興室	室長	佐藤 義明	
湯沢町	産業観光部	部長	南雲 剛	

以下事務局記載欄

今後の進め方			
事務局案	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	・広域観光情報センターにとらわれず、浦佐駅と越後湯沢駅の観光案内の連携などについて再検討する必要がある。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	

平成30年度[魚沼地域定住自立圏]事業振返りシート

平成30年度	事業番号 1311	事業名	定住自立圏へのU・I・Jターン就職希望者募集事業
---------------	--------------	-----	--------------------------

① 事業概要

- ・U/Iターン就職希望者に向けたPR事業の実施
- ・首都圏等での合同企業説明会の開催
- ・共同でのパンフレット作成やWebサイト設置
- ・共同での優遇措置の検討

② 現状・事業の進行にあたっての課題

- ・何かしら事業が実施可能なかの話し合いの場が必要

③ 「KPI」の現在把握値

就職ガイダンス参加学生の人数	40	(備考) 平成30年4月開催の就職ガイダンス参加者（新卒予定者）の人数29名+10名=40
----------------	----	---

④ 今年度に達成する事項 **⑤ 左記の実施状況** (A,Bいずれかを選択)

1	・担当者会議の開催	A	A…今年度中に完了 B…今年度中に完了せず
2	・実施可能な事業の検討の検討	A	
3	—		
4	—		

⑥ *⑤「左記の実施状況」でBを選択した場合は要記載

今年度中に完了しなかった理由	来年度に取り組むべきこと（課題）

⑦ 事業実現までの進捗状況 (1~4のうちいずれかを選択)

3	4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している 3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階 2…関係者を含めた調整段階 1…構想段階、検討段階であり事業実施の目的は立っていない
----------	---

⑧ (あれば記載) 事業を進める上での阻害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

- ・説明会開催に係る負担金の予算化（平成31年度当初予算編成作業時に間に合わなかった。平成31年1月に具体化したため。）

⑨ 事業の実現可能性について（いつ頃の完了を見込んでいるのか、困難度は）（1～4のうちいずれかを選択）

3	4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる（or既に実現している） 3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる 2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難 1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能
【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3,4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか（実現したか）記載】 毎年春に行っていた大学生、専門学校生の新卒者を対象にハローワーク南魚沼主催で行っていた就職ガイダンスが昨今の状況により参加者減少。平成31年度の開催についての協議があり、ハローワークと管内の市町村共催で10月に未内定者、専門学校生を対象に開催することとなった。	

⑩ 広域連携のメリットについて（1～4のうちいずれかを選択）

4	4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる（or既に連携が行われている。） 3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される 2…連携による効果が小さく、現行と大差がない 1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。
【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】	

⑪ 人材育成の観点から（1～4のうちいずれかを選択）

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する（定住自立圏の場合は人材育成に有効） 3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている（定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある） 2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができている（定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない） 1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない（定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない）
市町名	【1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】
南魚沼市	3
魚沼市	3
湯沢町	3

⑫ 確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	産業振興部商工観光課	課長	腰越 勝利	
魚沼市	商工観光課	課長	星野 隆	
湯沢町	産業観光部	部長	南雲 剛	

以下事務局記載欄

今後の進め方			
事務局案	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	・事業概要に記載の項目について、スケジュール感をもって取り組む必要がある。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	

平成30年度[魚沼地域定住自立圏]事業振返りシート

平成30年度	事業番号 141	事業名	廃棄物処理施設広域化事業
---------------	-------------	-----	--------------

① 事業概要

・平成35年の供用開始を目指し、新ごみ処理施設を2市1町で建設する。
(平成27年2月3日基本合意書調印)

② 現状・事業の進行にあたっての課題

・新ごみ処理施設建設に対する地域住民の不安要素の排除
・新ごみ処理施設建設に係る二市一町のごみ処理方針のすり合わせ

③ 「KPI」の現在把握値

ごみ処理施設建設	—	(備考)
----------	---	------

④ 今年度に達成する事項 **⑤ 左記の実施状況** (A,Bいずれかを選択)

1	・新ごみ処理施設建設に係る二市一町の経費比率の決定	B	A…今年度中に完了 B…今年度中に完了せず
2	・ごみ処理区分及び処理能力の決定	B	
3	—		
4	—		

⑥ *⑤「左記の実施状況」でBを選択した場合は要記載

	今年度中に完了しなかった理由	来年度に取り組むべきこと(課題)
1	新ごみ処理施設建設予定地周辺集落より施設建設の同意が取れていないため、施設整備及び関係する付帯施設、搬入道路整備内容が確定できなかった。	新ごみ処理施設整備について地元周辺集落と協議を行い、施設の建設同意及び関係する各整備事業内容を決定する。
2	二市一町のごみ処理区分については概ね調整は済んでいる。処理能力の決定については国への地域計画提出にて決定とする。	地域計画提出には地元からの建設同意が必要なため、施設建設同意を最優先で取り組む。

⑦ 事業実現までの進捗状況 (1~4のうちいずれかを選択)

2	4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している 3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階 2…関係者を含めた調整段階 1…構想段階、検討段階であり事業実施の用途は立っていない
----------	---

⑧ (あれば記載) 事業を進める上での阻害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

- ・ごみ搬入車両の増加に伴う、登校児童の交通事故のリスクを減らすため、スクールバスの運用を増加させたい(教育委員会)
- ・市が魚沼コシヒカリと同等に八色ブランドをアピールさせたい(農林課・商工観光課・総務部)
- ・付帯施設として歩くプールなどの健康増進施設も検討している(福祉課・生涯スポーツ課)

⑨ 事業の実現可能性について（いつ頃の完了を見込んでいるのか、困難度は）（1～4のうちいずれかを選択）

3	4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる（or既に実現している） 3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる 2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難 1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能
----------	---

【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3,4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか（実現したか）記載】

新ごみ処理施設整備に係る地元説明会を1巡目、2巡目と二回開催し、地元住民に新ごみ処理施設建設の事業概要の説明を行ったが、周辺集落より建設反対の請願書が提出され、建設同意は得られていない状態。しかしながら、県内外への先進地視察に参加した地元住民の方からは大変高評価を得ていることから、来年度も引き続き建設同意を得るために地元と協議及び先進地視察を行い、2026年の供用開始を目指す。

⑩ 広域連携のメリットについて（1～4のうちいずれかを選択）

4	4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる（or既に連携が行われている。） 3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される 2…連携による効果が小さく、現行と大差がない 1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。
----------	---

【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】

⑪ 人材育成の観点から（1～4のうちいずれかを選択）

（2市1町ごとに下の欄へ記入してください）	4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する（定住自立圏の場合は人材育成に有効） 3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている（定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある） 2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができています（定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない） 1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない（定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない）
-----------------------	---

市町名		【1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】
南魚沼市	4	
魚沼市	4	
湯沢町	4	

⑫ 確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	（あれば記載）備考・コメント
南魚沼市	市民生活部	部長	石田 正利	
魚沼市	環境課	課長	小峯 要一	
湯沢町	産業観光部	部長	南雲 剛	

以下事務局記載欄

今後の進め方			
事務局案	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	・引き続き課題解決を図るための体制づくりを進め、早期の供用開始を目指していく必要がある。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	

平成30年度[魚沼地域定住自立圏]事業振返りシート

平成30年度	事業番号 142	事業名 し尿等受入処理施設広域化事業
---------------	-------------	-----------------------

① 事業概要

・平成30年4月の供用開始を目指し、新し尿等受入処理施設を2市1町で建設する。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

・施設整備完了のため無し

③ 「KPI」の現在把握値

し尿等処理経費	114,819 千円	(備考) 平成29年度決算
---------	---------------	---------------

④ 今年度に達成する事項 **⑤ 左記の実施状況** (A,Bいずれかを選択)

1	— (施設整備完了のため無し)	A	A…今年度中に完了 B…今年度中に完了せず
2	—		
3	—		
4	—		

⑥ *⑤「左記の実施状況」でBを選択した場合は要記載

	今年度中に完了しなかった理由	来年度に取り組むべきこと (課題)

⑦ 事業実現までの進捗状況 (1~4のうちいずれかを選択)

4	4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している 3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階 2…関係者を含めた調整段階 1…構想段階、検討段階であり事業実施の目途は立っていない
----------	---

⑧ (あれば記載) 事業を進める上での障害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

⑨ 事業の実現可能性について（いつ頃の完了を見込んでいるのか、困難度は）（1～4のうちいずれかを選択）

4	4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる（or既に実現している） 3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる 2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難 1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能
【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3,4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか（実現したか）記載】	

⑩ 広域連携のメリットについて（1～4のうちいずれかを選択）

4	4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる（or既に連携が行われている。） 3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される 2…連携による効果が小さく、現行と大差がない 1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。
【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】	

⑪ 人材育成の観点から（1～4のうちいずれかを選択）

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する（定住自立圏の場合は人材育成に有効） 3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている（定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある） 2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができています（定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない） 1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない（定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない）
市町名	【1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】
南魚沼市	4
魚沼市	4
湯沢町	4

⑫ 確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	市民生活部	部長	石田 正利	
魚沼市	環境課	課長	小峯 要一	
湯沢町	産業観光部	部長	南雲 剛	

以下事務局記載欄

今後の進め方			
事務局案	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	・今後は維持管理面での課題を共有したうえで、引き続き施設の効率的な処理体制について検討していく必要がある。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	

平成30年度[魚沼地域定住自立圏]事業振返りシート

平成30年度	事業番号 143	事業名	斎場の相互利用事業
---------------	-------------	-----	-----------

① 事業概要

・圏域の地域住民が利用する際、同一の使用料とすることで、利便性を向上させる。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

・平成27年12月に供用開始となった魚沼市斎場の利用料金については、同年6月議会で既に決定（据え置き）している。
 ・料金統一については、共生ビジョンで「施設相互利用料金は圏域内全事業を統一して利用促進を図る」など、一定の方向性が示されないと実現が難しいと思われる。
 ・開始時期や料金改正内容によっては、指定管理委託料にも影響が出てくる可能性があるため、手続きに問題が生じないようタイミングを見極める必要がある。

③ 「KPI」の現在把握値

(未定)	—	(備考)
------	---	------

④ 今年度に達成する事項 **⑤ 左記の実施状況** (A,Bいずれかを選択)

1	・料金統一ではなく、管外利用料金の割増率についての検討を始める。	A	A…今年度中に完了 B…今年度中に完了せず
2	—		
3	—		
4	—		

⑥ *⑤「左記の実施状況」でBを選択した場合は要記載

今年度中に完了しなかった理由	来年度に取り組むべきこと（課題）

⑦ 事業実現までの進捗状況 (1～4のうちいずれかを選択)

2	4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している 3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階 2…関係者を含めた調整段階 1…構想段階、検討段階であり事業実施の目途は立っていない
----------	---

⑧ (あれば記載) 事業を進める上での阻害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

・斎場利用は市外料金の設定はあるが、相互利用が可能な状況にある。しかしながら、過去5年の利用実績では、魚沼市からの南魚沼市斎場利用はない現状である。アンバランスな状況の中で、料金の統一が相互利用の促進になるのか、検討が必要である。
 ・管内施設全体の相互利用の促進のため、使用料統一を目指すのであれば、全体での検討が必要がある。

⑨ 事業の実現可能性について（いつ頃の完了を見込んでいるのか、困難度は）（1～4のうちいずれかを選択）

2	4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる（or既に実現している） 3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる 2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難 1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能
【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3,4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか（実現したか）記載】 ・過去5年、南魚沼市民（大和地域と思われる）の魚沼市斎場の利用実態はあるが、魚沼市民の南魚沼市斎場の利用実態は無い。したがって、料金統一による相互利用は進まないものと考ええる。	

⑩ 広域連携のメリットについて（1～4のうちいずれかを選択）

2	4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる（or既に連携が行われている。） 3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される 2…連携による効果が小さく、現行と大差がない 1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。
【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】 ・過去5年、南魚沼市民（大和地域と思われる）の魚沼市斎場の利用実態はあるが、魚沼市民の南魚沼市斎場の利用実態は無い。したがって、料金統一による相互利用は今後も進まないものと考ええる。	

⑪ 人材育成の観点から（1～4のうちいずれかを選択）

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する（定住自立圏の場合は人材育成に有効） 3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている（定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある） 2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができてきている（定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない） 1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない（定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない）
-----------------------	--

市町名		【1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】
南魚沼市	3	
魚沼市	3	
湯沢町	3	

⑫ 確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	環境交通課	課長	西潟 一郎	葬儀を考慮すると移動時間等課題が多く、相互利用は一部の者に限り有効と考えるが、全体としては進まないと思われる。
魚沼市	環境課	課長	小峯 要一	
湯沢町	産業観光部	部長	南雲 剛	

以下事務局記載欄

今後の進め方			
事務局案	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(備考)	・圏域内の住民の利便性の向上を図っていく必要があるが、利用状況に著しく不均衡があること等で広域連携のメリットが見いだせなければ情報交換、人材育成の機会としてWGを残すかどうかを協議すること。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	

平成30年度[魚沼地域定住自立圏]事業振返りシート

平成30年度	事業番号 144	事業名	消費生活相談体制の強化事業
---------------	-------------	-----	---------------

① 事業概要

・圏域内の消費生活に関する安全・安心を確保するため、相談内容や対応状況について情報交換し、適切な対応を取れる体制を構築する。また、2市1町で連携し、合同での啓発活動や相談員を対象とした学習会を開催する。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

・交付金が減額になったことにより、事業内容の見直しが必要

③ 「KPI」の現在把握値

消費関係啓発講座への参加者数	82 人	(備考)	12月1日開催講演会集計
----------------	---------	------	--------------

④ 今年度に達成する事項 **⑤ 左記の実施状況** (A,Bいずれかを選択)

今年度に達成する事項	左記の実施状況
1 ・啓発パンフレットの作成、講演会の共同開催、消費生活センター周知チラシ配布	A
2 -	
3 -	
4 -	

A…今年度中に完了
B…今年度中に完了せず

⑥ *⑤「左記の実施状況」でBを選択した場合は要記載

今年度中に完了しなかった理由	来年度に取組むべきこと (課題)

⑦ 事業実現までの進捗状況 (1~4のうちいずれかを選択)

4	4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している 3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階 2…関係者を含めた調整段階 1…構想段階、検討段階であり事業実施の目途は立っていない
----------	---

⑧ (あれば記載) 事業を進める上での障害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

⑨ 事業の実現可能性について（いつ頃の完了を見込んでいるのか、困難度は）（1～4のうちいずれかを選択）

4	4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる（or既に実現している） 3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる 2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難 1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能
【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3,4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか（実現したか）記載】 相談内容や対応状況の情報交換や、窓口相互利用の周知は進められており、圏域内の相談体制の連携が構築されてきている。 12月1日には合同で講演会を実施し、市民への啓発や相談員等の学習する場を設けることができた。また、2月には共同で窓口相互利用や被害防止について圏域内に周知する予定である。	

⑩ 広域連携のメリットについて（1～4のうちいずれかを選択）

4	4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる（or既に連携が行われている。） 3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される 2…連携による効果が小さく、現行と大差がない 1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。
【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】	

⑪ 人材育成の観点から（1～4のうちいずれかを選択）

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する（定住自立圏の場合は人材育成に有効） 3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている（定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある） 2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができています（定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない） 1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない（定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない）
市町名	【1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】
南魚沼市	3
魚沼市	3
湯沢町	3

⑫ 確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	産業振興部商工観光課	課長	腰越 勝利	
魚沼市	市民課市民生活室	室長	戸田 千穂子	
湯沢町	産業観光部観光商工課	課長	南雲 剛	

以下事務局記載欄

今後の進め方			
事務局案	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	・引き続き周知活動と関係者との情報共有を図り、連携事業を進める必要がある。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	

平成30年度[魚沼地域定住自立圏]事業振返りシート

平成30年度	事業番号 1511	事業名	有機センターの相互利用事業
---------------	--------------	-----	---------------

① 事業概要

・ 既存施設の長期的な有効利用と稼働率を維持するため、圏域内の畜産農家の参画により、広域的な生産堆肥等の相互利用を促進する。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

- ・ お互いの状況が把握できていない
- ・ 堆肥の生産及び販売について共有できる部分はないか。
- ・ 副資材として利用しているもみ殻等の確保について共有できる部分はないか。
- ・ 堆肥運搬、散布等の機械類の共有できる部分はないか。

③ 「KPI」の現在把握値

(未定)	—	(備考)
------	---	------

④ 今年度に達成する事項 **⑤ 左記の実施状況 (A,Bいずれかを選択)**

1	・ 両施設の状況及び堆肥利用状況の把握	A	A…今年度中に完了 B…今年度中に完了せず
2	・ 堆肥の質の違いについて農業者から意見を聞く	B	
3	—		
4	—		

⑥ *⑤「左記の実施状況」でBを選択した場合は要記載

	今年度中に完了しなかった理由	来年度に取り組むべきこと (課題)
2	一部の利用者 (魚沼市農業者) から聞き取りを行ったが不十分であった。(検証が難しい)	確認方法の検討し、再度意見を聞く。

⑦ 事業実現までの進捗状況 (1~4のうちいずれかを選択)

1	4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している 3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階 2…関係者を含めた調整段階 1…構想段階、検討段階であり事業実施の目途は立っていない
----------	---

⑧ (あれば記載) 事業を進める上での阻害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

・ ・ ・

⑨ 事業の実現可能性について（いつ頃の完了を見込んでいるのか、困難度は）（1～4のうちいずれかを選択）

3	4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる（or既に実現している） 3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる 2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難 1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能
【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3,4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか（実現したか）記載】 堆肥生産、販売における共通事項等を検証して進めていかなければならないため、平成31年度に一部利用の検証を行う。	

⑩ 広域連携のメリットについて（1～4のうちいずれかを選択）

2	4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる（or既に連携が行われている。） 3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される 2…連携による効果が小さく、現行と大差がない 1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。
【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】 魚沼市は堆肥販売における運搬距離の問題等で現在、JA北魚沼に委託販売をお願いしている。小袋堆肥であれば市内外の店頭販売も可能である。また、南魚沼市の有機センターは魚沼市の十日町地域と隣接しておりバラ堆肥の販売も可能である。	

⑪ 人材育成の観点から（1～4のうちいずれかを選択）

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する（定住自立圏の場合は人材育成に有効） 3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている（定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある） 2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができています（定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない） 1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない（定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない）
市町名	【1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】
南魚沼市	3
魚沼市	3
湯沢町	1 現在、湯沢町に畜産農家が無く、有機センターからの購入実績もない。JA北魚沼に委託販売をお願いしている小袋堆肥において、市内外の店頭販売が可能であれば定住自立圏での情報交換は必要ないと思われる。

⑫ 確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	農林課	課長	金井 進	
魚沼市	農林課農政室	室長	富永 勝巳	
湯沢町	環境農林課	課長	古川健一	普通肥料の生産も検討するのであれば湯沢町(浄化センター汚泥)も参画できるのではないか。

以下事務局記載欄

今後の進め方			
事務局案	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(備考)	・住民の利便性向上や施設の有効利用の観点から、連携の必要性を再検討をする必要があるが、広域連携のメリットが見いだせなければ情報交換、人材育成の機会としてWGを残すかどうかを協議すること。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	

平成30年度[魚沼地域定住自立圏]事業振返りシート

平成30年度	事業番号 1512	事業名	鳥獣害対策事業
---------------	--------------	-----	---------

① 事業概要

・圏域内で鳥獣害に関する対策協議会を設置し、圏域内で一体的な被害防止活動を実施する。研修会等の開催や、生態調査の連携実施を通じ、駆除や捕獲に取り組む。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

・各市町とも鳥獣害対策実施の目的と目標は同じだと思うので、事業範囲を圏域でとらえた場合、現実的にどういった事業が実施（=実現）可能か検討する必要がある。

③ 「KPI」の現在把握値

(未定)	—	(備考)	
------	---	------	--

④ 今年度に達成する事項 **⑤ 左記の実施状況** (A,Bいずれかを選択)

1	・担当者レベルでの打合せ会を10月に開催する。その際、サルパト隊員にも声掛けをする。	A	A…今年度中に完了 B…今年度中に完了せず
2	—		
3	—		
4	—		

⑥ *⑤「左記の実施状況」でBを選択した場合は要記載

	今年度中に完了しなかった理由	来年度に取り組むべきこと（課題）

⑦ 事業実現までの進捗状況 (1~4のうちいずれかを選択)

2	4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している 3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階 2…関係者を含めた調整段階 1…構想段階、検討段階であり事業実施の目的は立っていない
----------	---

⑧ (あれば記載) 事業を進める上での障害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

・研修会について、圏域連携で効果があるものと、市町単独で行った方が効果があるものを精査し、参加者に有益になる研修を行う必要がある。

⑨ 事業の実現可能性について（いつ頃の完了を見込んでいるのか、困難度は）（1～4のうちいずれかを選択）

3	4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる（or既に実現している） 3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる 2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難 1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能
【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3,4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか（実現したか）記載】 ・対策協議会の設置、圏域での研修会については今後調整が必要であるが、被害防止活動等については情報交換を既に行っている。	

⑩ 広域連携のメリットについて（1～4のうちいずれかを選択）

4	4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる（or既に連携が行われている。） 3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される 2…連携による効果が小さく、現行と大差がない 1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。
【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】 ・被害防止活動、生態調査を通じて駆除・捕獲に取り組める。	

⑪ 人材育成の観点から（1～4のうちいずれかを選択）

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する（定住自立圏の場合は人材育成に有効） 3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場合は必要だと感じている（定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある） 2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができています（定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない） 1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない（定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない）
市町名	【1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】
南魚沼市	4 ・本事業の目的はいかに被害を減少させるかで各市町一致していると考えます。したがって、担当職員のスキルアップや事業目的達成のためには情報交換や共通認識を持つ場が必要である。
魚沼市	4 ・職員の知識吸収や被害防止のためには、情報交換や認識の共有は有効である。
湯沢町	4 ・今後、鳥獣害の拡大(サル、イノシシ、シカなど)、市街地での出没などが考えられるため、対策等について広域での情報交換は有効である。

⑫ 確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	環境交通課	課長	西潟一郎	
魚沼市	農林課	課長	星正人	
湯沢町	産業観光部	課長	古川健一	鳥獣害対策は今後、更に大きな問題となる。

以下事務局記載欄

今後の進め方			
事務局案	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	・関係者を含め幅広い情報共有に努め、広域連携するメリットを再整理したうえで、実現可能な取組を検討する必要がある。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	

平成30年度	事業番号 161	事業名	木質バイオマス発電事業
---------------	-------------	-----	-------------

① 事業概要

・ 圏域の地域住民の生活環境の向上、森林整備の促進と森林資源の有効活用を推進するため、木質バイオマス発電施設を設置する。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

・ 「雪のくいの発電」事業化については、平成29年度での検討会でも実現不可となり、民間での発電所計画があることから、これを静観する方向である。また、現時点での情報からは進捗状況が不明確ではあるが、今後も動向を注視しながら協力できる部分は検討する。

③ 「KPI」の現在把握値

利用間伐搬出量	3,204 m ³	(備考) H30末担当課委託契約実績数値等
利用間伐面積	71.45 ha	

④ 今年度に達成する事項 **⑤ 左記の実施状況** (A,Bいずれかを選択)

1	・ 民間経営の発電所の動向を注視し、10月を目途に情報交換を行う。	A	A…今年度中に完了 B…今年度中に完了せず
2	—		
3	—		
4	—		

⑥ *⑤「左記の実施状況」でBを選択した場合は要記載

今年度中に完了しなかった理由	来年度に取り組むべきこと (課題)

⑦ 事業実現までの進捗状況 (1~4のうちいずれかを選択)

1	4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している 3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階 2…関係者を含めた調整段階 1…構想段階、検討段階であり事業実施の目途は立っていない
----------	---

⑧ (あれば記載) 事業を進める上での阻害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

「雪のくいの発電」建設検討会により広域的な検討を進めてきたが、H28年度末に東北電力への接続検討申込の結果、多大な費用と工事期間が掛かるとの回答を受け、事業を進めることは困難であると判断した。また、民間事業者による木質バイオマス発電所建設計画が確認できたため、同一圏内への複数設置(競争)は材の取り合いになり共倒れの要素が強く、結果不必要であることからその推移を静観している状況である。

また、東北電力の送電線容量に余裕がなく、受入れが不可能な状況でもあり、実現可能性調査(FS調査)からも木材の必要量及び買取り価格との経営収支が厳しい結果である。

⑨ 事業の実現可能性について（いつ頃の完了を見込んでいるのか、困難度は）（1～4のうちいずれかを選択）

2	4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる（or既に実現している） 3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる 2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難 1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能
----------	---

【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3,4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか（実現したか）記載】

「雪のくにの発電」建設検討会において計画検討を進めてきたが、平成29年に民間事業者から発電所設置への説明があり、同一圏内への複数設置は電力会社の送電線接続許可や木材の取り合いが予想されることから、民間事業者による動向を注視している状況である。

⑩ 広域連携のメリットについて（1～4のうちいずれかを選択）

4	4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる（or既に連携が行われている。） 3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される 2…連携による効果が小さく、現行と大差がない 1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。
----------	---

【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】

広域で連携しなければ燃料用木材の安定供給を図ることが難しい。
 連携することで遠方まで運搬していた木材も、圏内に施設がある場合は流通としての輸送コストも抑えられ、結果、木材単価（買取り）への反映が期待できる。

⑪ 人材育成の観点から（1～4のうちいずれかを選択）

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する（定住自立圏の場合は人材育成に有効） 3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている（定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある） 2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができている（定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない） 1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない（定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない）
-----------------------	--

市町名 **【1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】**

南魚沼市	3	情報交換や認識の場はあるが、2市1町のみとしてはない。（南魚沼地域振興局のエリア3市2町）
魚沼市	3	情報交換や認識の場はあるが、2市1町のみとしてはない。（南魚沼地域振興局のエリア3市2町）
湯沢町	3	近隣自治体の担当間で、森林の整備促進・資源有効活用について、情報交換や新しい分野の視察が出来た。

⑫ 確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	産業振興部農林課	課長	金井 進	
魚沼市	農林課農林室	室長	栲沢伸幸	
湯沢町	環境農林課	課長	古川健一	収益性があれば民間が参入してくれると思う。

以下事務局記載欄

今後の進め方			
事務局案	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(備考)	・「雪のくに発電事業」については実現困難な状況であるが、圏域内の木材の有効活用について再検討が必要なため、「木質バイオマス利用促進事業」のWGとの統一も含めて検討すること。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	

平成30年度[魚沼地域定住自立圏]事業振返りシート

平成30年度	事業番号 1611	事業名	木質バイオマス利用促進事業
---------------	--------------	-----	---------------

① 事業概要

・地球温暖化の防止、地域資源循環システム構築のため、ペレットストーブ購入補助制度等の統一化と拡販により、普及促進を図る。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

・補助対象、補助率、補助上限額等、2市1町での統一化がなされていない。
補助対象等の統一化ありきの検討だが、事業主旨に関連する普及促進が検討されていない。
このため、啓蒙・啓発活動も併せて検討することが課題である。

③ 「KPI」の現在把握値

(未定)	—	(備考)
------	---	------

④ 今年度に達成する事項 **⑤ 左記の実施状況** (A,Bいずれかを選択)

1	・2市1町での統一化と事業主旨に関連するものを調査し、事業の再確認と実現へ向けた行動を行う。(補助率及び上限額の統一は今後も検討する。)	A	A…今年度中に完了 B…今年度中に完了せず
2	—		
3	—		
4	—		

⑥ *⑤「左記の実施状況」でBを選択した場合は要記載

今年度中に完了しなかった理由	来年度に取り組むべきこと(課題)

⑦ 事業実現までの進捗状況 (1~4のうちいずれかを選択)

3	4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している 3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階 2…関係者を含めた調整段階 1…構想段階、検討段階であり事業実施の目途は立っていない
----------	---

⑧ (あれば記載) 事業を進める上での阻害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

- ・木材の利活用を考えた場合、間伐材や林地残材も山林での施業から搬出までの運搬費等が阻害要因の1つでもある。
- ・制度の統一のみ以外、新エネルギーにおける木質バイオマス利用促進として地元産材の利活用等、幅広い視点での検討が必要。
- ・購入補助制度に頼らない利用促進についての検討が必要。

⑨ 事業の実現可能性について（いつ頃の完了を見込んでいるのか、困難度は）（1～4のうちいずれかを選択）

3	4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる（or既に実現している）
	3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる
	2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難
	1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能

【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3,4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか（実現したか）記載】
 H31から南魚沼市でも購入補助制度の主品目を追加（薪ストーブ）する。これで当初計画の一つである主品目は統一されたが、統一化が利用促進になるのか不透明な部分もある。あくまでも、購入補助制度は利用促進の一つに過ぎないことから、今後の部会では地元産材（木材）の利用促進に向け、普及啓発や仕組みづくりの検討が必要であり、また、購入補助制度に頼らない利用促進についても検討が必要である。

⑩ 広域連携のメリットについて（1～4のうちいずれかを選択）

2	4…市町単独で行うより連携の方が全体的な効果が期待できる（or既に連携が行われている。）
	3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される
	2…連携による効果が小さく、現行と大差がない
	1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。

【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】
 木質ペレット化事業は、新エネルギー対策の中核部分を具現化するものであり、森林資源の活用及びCo2排出量削減に寄与することができる反面、広域連携のメリットとしての効果が不明である。購入補助制度の品目統一（ペレット、薪）は一つの手法に過ぎず、本来の木材の利活用が重要であることから、再度、広域圏連携としての部会検討が必要であり、利活用の選択肢が多くなる広域圏で実施することのメリットを活かすためにも、更なる普及啓発が不可欠である。
 また、市町庁舎の暖房をペレットストーブ化、市町職員の名札木質化など、市民・町民へ木質バイオマス利活用の取り組みを広域的にアピールすることも一つの手法であることから今後も検討していく。

⑪ 人材育成の観点から（1～4のうちいずれかを選択）

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する（定住自立圏の場合は人材育成に有効）
	3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている（定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある）
	2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができてきている（定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない）
	1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない（定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない）

市町名 【1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】

南魚沼市	3	情報交換や認識の場はあるが、2市1町のみとしてはない。（南魚沼地域振興局のエリア3市2町）
魚沼市	3	木質バイオマスの利活用については、庁内でも環境の面と、木材活用の面と所管課が分かれている。庁内の情報共有のみでなく、広域圏で情報共有できる場合は今後の事業遂行にあたり有効と思われる。
湯沢町	3	近隣自治体の担当間で、森林の整備促進・資源有効活用について、情報交換や新しい分野の視察が出来た。

⑫ 確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	産業振興部農林課	課長	金井 進	
魚沼市	環境課	課長	小峯 要一	
湯沢町	産業観光部	課長	古川健一	購入補助の広域連携のメリットは小さいと思われる。

以下事務局記載欄

今後の進め方			
事務局案	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	・圏域内の木材の利用促進に向け再検討が必要。単に補助金等の制度統一にとどまらず、圏域内の木材の有効活用について仕組みづくりを検討すること。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	

平成30年度	事業番号 1711	事業名 消防相互応援協定について
---------------	--------------	---------------------

① 事業概要

・南魚沼市消防本部と魚沼市消防本部及び南魚沼市消防団と魚沼市消防団、南魚沼市消防団と湯沢町消防団でそれぞれ応援協定を締結している。この協定を更に実効性のあるものとするため、相互に定期的に合同訓練を実施する。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

- ・車両、人員派遣
- ・訓練場所
- ・日程、訓練内容等調整

③ 「KPI」の現在把握値

(未定)	—	(備考)
------	---	------

④ 今年度に達成する事項 **⑤ 左記の実施状況 (A,Bいずれかを選択)**

1	・諸課題の洗い出し (整理)	B	A…今年度中に完了 B…今年度中に完了せず
2	—		
3	—		
4	—		

⑥ *⑤「左記の実施状況」でBを選択した場合は要記載

	今年度中に完了しなかった理由	来年度に取り組むべきこと (課題)
1	諸課題の洗い出し等はできなかったが、消防本部においては合同机上訓練、合同研修を行った	合同訓練を行うにあたり、さらなる諸課題の洗い出し

⑦ 事業実現までの進捗状況 (1~4のうちいずれかを選択)

4	4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している 3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階 2…関係者を含めた調整段階 1…構想段階、検討段階であり事業実施の目途は立っていない
----------	---

⑧ (あれば記載) 事業を進める上での阻害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

・ ・ ・

⑨ 事業の実現可能性について（いつ頃の完了を見込んでいるのか、困難度は）（1～4のうちいずれかを選択）

4	4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる（or既に実現している） 3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる 2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難 1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能
【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3,4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか（実現したか）記載】 すでに応援協定を結んでおり、実現している。実際には火災、救助、救急活動で、お互いに管轄外に応援出動している。	

⑩ 広域連携のメリットについて（1～4のうちいずれかを選択）

4	4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる（or既に連携が行われている。） 3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される 2…連携による効果が小さく、現行と大差がない 1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。
【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】 糸魚川大火のように大規模災害が起きた場合に、メリットが期待できる	

⑪ 人材育成の観点から（1～4のうちいずれかを選択）

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する（定住自立圏の場合は人材育成に有効） 3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている（定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある） 2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができている（定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない） 1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない（定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない）
市町名	【1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】
南魚沼市	2 一部合同訓練、合同研修、情報交換会を定期的実施している。
魚沼市	2 一部合同訓練、合同研修、情報交換会を定期的実施している。
湯沢町	2 一部合同訓練、合同研修、情報交換会を定期的実施している。

⑫ 確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	消防本部警防課	課長	中嶋直樹	
魚沼市	消防本部(消防総務課)	課長	大桃 明	
湯沢町	総務管理課	課長	前原 力	

以下事務局記載欄

今後の進め方			
事務局案	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	・既に応援出動や合同訓練の実施による体制づくりが進められているので、今後はWG会議を機会として各連携事業の課題抽出や仕組みづくりを協議する必要がある。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	

平成30年度[魚沼地域定住自立圏]事業振返りシート

平成30年度	事業番号 1712	事業名	防災対策活動推進事業
---------------	--------------	-----	------------

① 事業概要

・災害備蓄用品の在庫は、各市町で統一されておらず、備品一覧を作成し、情報共有を図る。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

・2市1町共通様式による食料・備蓄品一覧の掲載内容と在庫情報の更新時期

③ 「KPI」の現在把握値

(未定)	—	(備考)
------	---	------

④ 今年度に達成する事項 **⑤ 左記の実施状況 (A,Bいずれかを選択)**

1	・食料・備蓄品の在庫状況が確認できる一覧表の作成と保管場所の位置図及び写真（画像データ）の共有。大量ストックや新製品情報等の適宜情報共有。	B	A…今年度中に完了 B…今年度中に完了せず
2	—		
3	—		
4	—		

⑥ *⑤「左記の実施状況」でBを選択した場合は要記載

	今年度中に完了しなかった理由	来年度に取り組むべきこと（課題）
1	情報共有するためのフォーマットが作成できなかった。	フォーマットの作成

⑦ 事業実現までの進捗状況 (1~4のうちいずれかを選択)

1	4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している 3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階 2…関係者を含めた調整段階 1…構想段階、検討段階であり事業実施の目途は立っていない
----------	---

⑧ (あれば記載) 事業を進める上での阻害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

・ ・ ・

⑨ 事業の実現可能性について（いつ頃の完了を見込んでいるのか、困難度は）（1～4のうちいずれかを選択）

3	4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる（or既に実現している） 3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる 2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難 1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能
【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3,4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか（実現したか）記載】 リスト等の共有は、すぐに可能だと考える。	

⑩ 広域連携のメリットについて（1～4のうちいずれかを選択）

2	4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる（or既に連携が行われている。） 3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される 2…連携による効果が小さく、現行と大差がない 1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。
【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】 それぞれの備蓄に対する考え方や計画が違うため、備蓄しているものも様々である。効果を期待するなら、考え方や計画をある程度統一する必要があると考える。	

⑪ 人材育成の観点から（1～4のうちいずれかを選択）

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する（定住自立圏の場合は人材育成に有効） 3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている（定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある） 2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができています（定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない） 1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない（定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない）
市町名	【1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】
南魚沼市	3 協議を行うテーマについては、防災の観点からは、定住自立圏より広い範囲での広域的なテーマとなるものが多い。ただし、隣接していることもあり、交流等の人材育成には必要な場だと思う。
魚沼市	3 全国的、全県的な取組が多く存在し、定住自立圏域に限り協議するテーマは限定的。また、他の近隣自治体を含め災害時の支援協定を締結済み。
湯沢町	3 定住自立圏を含め隣接自治体との交流は必要である。

⑫ 確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	総務課	課長	高橋 悟	
魚沼市	総務課	課長	森山 徳裕	
湯沢町	総務管理課	課長	前原 力	

以下事務局記載欄

今後の進め方			
事務局案	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(備考)	・広域連携の必要性を再整理したうえで、住民にとって現実的なメリットが無ければ、情報交換、人材育成の機会としてWGを残すかどうかを協議すること。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	

平成30年度[魚沼地域定住自立圏]事業振返りシート

平成30年度	事業番号 1811	事業名	圏域内U・I・Jターン促進事業
---------------	--------------	-----	-----------------

① 事業概要

・人口減少問題に対応するため、圏域内の地域資源である上越新幹線、リゾートマンション等を活用し、首都圏で働く若年層を圏域内に移住、定住させるための施策を効果的に実施し、総合的な移住定住支援を行う。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

・構成自治体としての具体的な連携策がない。
 ・全国的に各市町が独自色を出しながら移住定住に取り組んでいる中、圏域共同での情報発信は難しい。
 ・基本的な施策が競合しているため、取組みと効果が限定される。

③ 「KPI」の現在把握値

(未定)	—	(備考)	
------	---	------	--

④ 今年度達成する事項 **⑤ 左記の実施状況** (A,Bいずれかを選択)

1	・12月開催のU・Iターンフェアで連携した取組みを行い、一体感をPRする	A	A…今年度中に完了 B…今年度中に完了せず
2	・A4、1枚程度のPR用紙の作成。	B	
3	—		
4	—		

⑥ *⑤「左記の実施状況」でBを選択した場合は要記載

	今年度中に完了しなかった理由	来年度に取り組むべきこと(課題)
2	チラシの内容等について、協議時間の確保ができなかったため。	他地域で行っている事例を参考に、チラシの記載内容や取組みについて協議する。

⑦ 事業実現までの進捗状況 (1~4のうちいずれかを選択)

1	4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している 3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階 2…関係者を含めた調整段階 1…構想段階、検討段階であり事業実施の目的は立っていない
----------	---

⑧ (あれば記載) 事業を進める上での阻害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

・全国的に各市町村がいかにか独自色を出し、Uターンを促進していくが苦慮している中で、共同で事業を行うことは難しい。
 ・観光や就職支援等の連携から発展させることができないか？
 ・

⑨ 事業の実現可能性について（いつ頃の完了を見込んでいるのか、困難度は）（1～4のうちいずれかを選択）

2	4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる（or既に実現している） 3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる 2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難 1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能
【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3,4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか（実現したか）記載】	
構成各市町が特色ある施策を考案し、情報発信を行い事業展開を実施している中で、定住自立圏として取組む内容に具体性が見出せず、取組みに至っていない。	

⑩ 広域連携のメリットについて（1～4のうちいずれかを選択）

2	4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる（or既に連携が行われている。） 3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される 2…連携による効果が小さく、現行と大差がない 1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。
【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】	
圏域全体の施策と各市町の独自施策をどのように調整して、圏域事業とするのか整理できない。今後も各市町ごとの取組みが優先されることから、圏域全体としては情報交換や交流を主体とした取組みとしたい。	

⑪ 人材育成の観点から（1～4のうちいずれかを選択）

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する（定住自立圏の場合は人材育成に有効） 3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場合は必要だと感じている（定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある） 2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができている（定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない） 1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない（定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない）
市町名	【1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】
南魚沼市	3
魚沼市	3
湯沢町	3

⑫ 確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	総務部UIときめき課	課長	立川 一成	
魚沼市	企画政策課まちづくり室	室長	猪又 孝	
湯沢町	総務部企画政策課	課長	富沢 雅文	

以下事務局記載欄

今後の進め方			
事務局案	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	・広域連携による住民のメリットを再整理したうえで、実施可能な取組を協議すること。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	

平成30年度[魚沼地域定住自立圏]事業振返りシート

平成30年度	事業番号 1911	事業名	子育て拠点施設の相互利用
---------------	--------------	-----	--------------

① 事業概要

・人口減少問題に対応するため、圏域内の子育て拠点施設の相互利用や情報の共有と発信により、子育て世代が安心して子育てできる環境づくりを進める。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

・事業協力、連携するための各市町(利用者)の実情、考え方等の調整がどこまでできるか。
 例)自由に遊ぶ広場開放の相互利用は問題ないが、各実施事業や行事等への参加については(定員や参加料など)個々に調整、検討が必要。
 ・他市町の施設に関する利用情報等の紹介や広報の具体的方法、マップ作りの人員(費用)

③ 「KPI」の現在把握値

(共生圏域内)他市町在住者利用者数	—	(備考)	(今後H31年度末を集計する予定)
-------------------	---	------	-------------------

④ 今年度に達成する事項 **⑤ 左記の実施状況** (A,Bいずれかを選択)

1	・事業協力、連携の検討(具体化、実現性の確認)	A	A…今年度中に完了 B…今年度中に完了せず
2	・相互利用、情報の整理、発信方法の検討。(カウント方法、ひろば、周辺施設の整理。)	A	
3	—		
4	—		

⑥ *⑤「左記の実施状況」でBを選択した場合は要記載

今年度中に完了しなかった理由	来年度に取り組むべきこと(課題)

⑦ 事業実現までの進捗状況 (1~4のうちいずれかを選択)

3	4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している 3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階 2…関係者を含めた調整段階 1…構想段階、検討段階であり事業実施の目的は立っていない
----------	---

⑧ (あれば記載) 事業を進める上での阻害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

・
 ・
 ・

⑨ 事業の実現可能性について（いつ頃の完了を見込んでいるのか、困難度は）（1～4のうちいずれかを選択）

4	4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる（or既に実現している） 3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる 2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難 1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能
【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3,4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか（実現したか）記載】	
1. 他市在住者が参加できない実施事業は一部のみ、案内の仕方に対応できる 2. ホームページの相互リンク付けは可能（1～2月中） 3. 各市町の子育てスポット（屋内広場、公園等）情報の集約・共有化（1～2月中）	

⑩ 広域連携のメリットについて（1～4のうちいずれかを選択）

4	4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる（or既に連携が行われている。） 3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される 2…連携による効果が小さく、現行と大差がない 1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。
【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】	
各施設の特徴、対象年齢、休館日の違いを活かして、利用者ニーズに幅広く対応できる。 例）南魚沼市六日町会場（イオン内）はショッピングのついでに利用できる。毎週水曜休館、利用年齢は小学3年生までだが、魚沼市「かたっくり」は小学6年生まで利用可能、響きの森公園と隣接しており外遊びもできる。毎週月曜休館	

⑪ 人材育成の観点から（1～4のうちいずれかを選択）

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する（定住自立圏の場合は人材育成に有効） 3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている（定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある） 2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができています（定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない） 1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない（定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない）
市町名	【1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】
南魚沼市	4 子育て支援拠点施設の相互利用促進以外にも、保育行政全般について課題を共有したり、保健業務との連携など参考にできる。
魚沼市	4 広域連携の取組を通して交流、発信することにより、各施設従事者の成長につながる。
湯沢町	4 情報共有、協議等によって、会議そのものに出席していなくても他の市の担当者との連携がとりやすくなる。担当者の困り感の解消へとつながる。

⑫ 確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	子育て支援課	課長	山崎 芳人	
魚沼市	教育委員会子ども課	課長	広井 美智子	
湯沢町	子育て教育部	部長	高野 剛	

以下事務局記載欄

今後の進め方			
事務局案	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	・各施設の長所を活かした取組を進めていることから、今後も相互利用・交流を促進する連携事業の実現に向け検討する必要がある。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	

平成30年度[魚沼地域定住自立圏]事業振返りシート

平成30年度	事業番号 281	事業名	路線バス支援事業
---------------	-------------	-----	----------

① 事業概要

- ・圏域内における生活交通等を確保するため、地域公共交通ネットワークである基幹バス路線の運行を維持する。
- ・既存の基幹バス路線について、主要公共施設への運行延長を図ることで、利便性を向上させる。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

- ・南魚沼市民病院への乗り入れについて、実現性の検討が必要。
- ・地域住民の利便性の向上のため、経由する主要施設について検討が必要。

③ 「KPI」の現在把握値

路線バス利用者数	116,878 人	(備考)	H29年度輸送人員・バス事業者集計
----------	-----------	------	-------------------

④ 今年度に達成する事項 **⑤ 左記の実施状況** (A,Bいずれかを選択)

達成事項	実施状況
1 ・基幹バスの運行を維持する。	A
2 —	
3 —	
4 —	

A…今年度中に完了
B…今年度中に完了せず

⑥ *⑤「左記の実施状況」でBを選択した場合は要記載

今年度中に完了しなかった理由	来年度に取組むべきこと (課題)

⑦ 事業実現までの進捗状況 (1~4のうちいずれかを選択)

4	4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している 3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階 2…関係者を含めた調整段階 1…構想段階、検討段階であり事業実施の目的は立っていない
----------	---

⑧ (あれば記載) 事業を進める上での障害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

- ・ 国道17号から南魚沼市民病院への道路の幅員、冬期の除雪状況等から幹線路線バスの通行に支障がある。(南魚沼市)

⑨ 事業の実現可能性について（いつ頃の完了を見込んでいるのか、困難度は）（1～4のうちいずれかを選択）

4	4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる（or既に実現している） 3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる 2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難 1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能
【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3,4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか（実現したか）記載】 南魚沼市－湯沢町間、南魚沼市－魚沼市間の基幹バスの運行について、協調して補助を行い、路線を維持している。	

⑩ 広域連携のメリットについて（1～4のうちいずれかを選択）

4	4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる（or既に連携が行われている。） 3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される 2…連携による効果が小さく、現行と大差がない 1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。
【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】	

⑪ 人材育成の観点から（1～4のうちいずれかを選択）

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する（定住自立圏の場合は人材育成に有効） 3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている（定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある） 2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができています（定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない） 1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない（定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない）
市町名	【1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】
南魚沼市	4
魚沼市	4
湯沢町	4

⑫ 確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	都市計画課	課長	関 伸一	
魚沼市	企画政策課	課長	富永 幸敏	
湯沢町	企画政策課	課長	富沢 雅文	

以下事務局記載欄

今後の進め方			
事務局案	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	・これまでの事業を継続するとともに、引き続き情報交換を行い、住民の利便性の向上を図る必要がある。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	

平成30年度[魚沼地域定住自立圏]事業振返りシート

平成30年度	事業番号 282	事業名 婚活支援事業
---------------	-------------	---------------

① 事業概要

・各市町で開催されている結婚支援事業（婚活イベント、自己啓発セミナー、結婚相談等）について、イベント情報を共同発信することにより、圏域内外からの参加を促す。また、圏域内の地域住民が相互利用できるような体制を実現する。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

・圏域内での婚活事業を共同発信して参加者の増加につなげ、出会いの場や自己研鑽の機会を提供していくことが必要である。
 ・ハートマッチにいがた臨時サポートセンターの開設場所が流動的である。

③ 「KPI」の現在把握値

婚活支援事業参加者数	139 人	(備考) 南魚沼市23人、湯沢町20人、魚沼市96人。 ※各市町実施事業延べ参加者数（H30.12月末）
------------	----------	---

④ 今年度に達成する事項 **⑤ 左記の実施状況**（A,Bいずれかを選択）

1	・それぞれの取組を知り、各市町での情報発信を継続するとともに、共同で実施できる事業を協議する。	B	A…今年度中に完了 B…今年度中に完了せず
2	・ハートマッチにいがた臨時サポートセンターの開催場所等、開催方法を検討する	A	
3	・婚活事業に対するニーズを、各市町の事業の中でアンケートを取るなど調査し、次年度以降の取組の参考とする。	A	
4	—		

⑥ *⑤「左記の実施状況」でBを選択した場合は要記載

	今年度中に完了しなかった理由	来年度に取組むべきこと（課題）
1	各市町で実施する事業の充実化を図っている最中であり、共同開催については検討中であるため。	今年度のアンケート調査等を参考に、利用者のニーズや動向などを情報共有し、共同開催へ向けた問題点を洗い出し、協議していく。

⑦ 事業実現までの進捗状況（1～4のうちいずれかを選択）

3	4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している 3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階 2…関係者を含めた調整段階 1…構想段階、検討段階であり事業実施の目途は立っていない
----------	---

⑧ (あれば記載) 事業を進める上での障害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

・参加者の確保が課題となっている。広報紙など対象者への周知方法の効果が不明であり、またプライベートな問題に対し参加を強く促すことができない。

⑨ 事業の実現可能性について（いつ頃の完了を見込んでいるのか、困難度は）（1～4のうちいずれかを選択）

3	4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる（or既に実現している） 3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる 2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難 1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能
【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3,4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか（実現したか）記載】	
2019年度に課題の洗い出し、事業について協議を行い、2020年度から実現可能と考える。	

⑩ 広域連携のメリットについて（1～4のうちいずれかを選択）

3	4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる（or既に連携が行われている。） 3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される 2…連携による効果が小さく、現行と大差がない 1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。
【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】	
各市町での取組は、一定の年齢層を想定した取組となっている。圏域で実施する場合、潜在層を含め参加者の母数が単純に増える。また、マッチング時に相手が遠方であると少し敬遠することも考えられるが、圏域内なら比較的近距离であり、距離の心配をすることも少ないと考えられる。	

⑪ 人材育成の観点から（1～4のうちいずれかを選択）

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する（定住自立圏の場合は人材育成に有効） 3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている（定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある） 2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができています（定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない）
市町名	【1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】
南魚沼市	4 各市町で同じ課題を抱えており、それぞれの取り組み内容を情報共有することで、職員のスキルアップにもつながる。
魚沼市	4 圏域での協議や、婚活イベント情報を相互発信している点は、担当者が取組メニューを構築する際の参考になったり、対象者への発信チャンネルも多くなり、有益と考える。
湯沢町	4 住民の生活圏が共通しているので、情報の発信や生活利便性の向上を2市1町で協力して行える関係は住民にとっても有益と考えている。

⑫ 確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	企画政策課	課長	片桐 克巳	
魚沼市	企画政策室	室長	吉澤 国明	
湯沢町	企画政策課	課長	富沢 雅文	

以下事務局記載欄

今後の進め方			
事務局案	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	・これまでの連携事業を継続するとともに、引き続き住民ニーズを捉えた取組を検討する必要がある。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	

平成30年度[魚沼地域定住自立圏]事業振返りシート

*黄色のセルに必要な事項を入力してください

平成30年度	事業番号 2811	事業名	広報活動推進連携事業
---------------	--------------	-----	------------

① 事業概要

・圏域住民にフェイスブックなどのSNSのシェア機能を用い、情報提供を行う。将来的には、広報誌等での情報提供も検討する。また、文化・スポーツ施設・公民館講座・子育て情報などの相互利用を進めるため、各市町の広報紙等を通じて情報発信を行う。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

・記事や情報のシェアについては、ある程度規模の大きなイベントで、定住自立圏内や圏外からの交流人口の活性化のために寄与できるものを中心に行うものとするとしているため、なかなか提供し合う情報の発信につながらない。

③ 「KPI」の現在把握値

(未定)	—	(備考)	
------	---	------	--

④ 今年度に達成する事項 **⑤ 左記の実施状況** (A,Bいずれかを選択)

1	—		A…今年度中に完了 B…今年度中に完了せず
2	—		
3	—		
4	—		

⑥ *⑤「左記の実施状況」でBを選択した場合は要記載

今年度中に完了しなかった理由	来年度に取り組むべきこと(課題)
ワーキンググループ会議に出席できず、各市町の担当者との協議ができていない。各市町のFacebookなどの運用方法が異なるため、情報の共有ができていない。	広報活動における連携事業の必要性について、検討が必要と思われる。

⑦ 事業実現までの進捗状況 (1~4のうちいずれかを選択)

1	4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している 3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階 2…関係者を含めた調整段階 1…構想段階、検討段階であり事業実施の用途は立っていない
----------	---

⑧ (あれば記載) 事業を進める上での阻害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

・ ・ ・

⑨ 事業の実現可能性について（いつ頃の完了を見込んでいるのか、困難度は）（1～4のうちいずれかを選択）

2	4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる（or既に実現している） 3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる 2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難 1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能
【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3,4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか（実現したか）記載】 各市町原稿締切日や広報発行日などの違いから、各種イベント等の情報の発信は困難と思われる。Facebookの運用状況が異なり、情報共有など実現の可能性は低いものとする。	

⑩ 広域連携のメリットについて（1～4のうちいずれかを選択）

3	4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる（or既に連携が行われている。） 3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される 2…連携による効果が小さく、現行と大差がない 1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。
【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】 各市町の広報紙やウェブサイト等で比較的広い範囲に情報を発信できるという意味では、連携による効果は期待できるものと思われる。	

⑪ 人材育成の観点から（1～4のうちいずれかを選択）

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する（定住自立圏の場合は人材育成に有効） 3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場合は必要だと感じている（定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある） 2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができています（定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない） 1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない（定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない）
市町名	【1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】
南魚沼市	4
魚沼市	4
湯沢町	4

⑫ 確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	秘書広報課	課長	南雲利和	
魚沼市	総務管理室	室長	坂大 昇	
湯沢町	総務部	部長	高橋 功	

以下事務局記載欄

今後の進め方			
事務局案	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	・定住自立圏の連携事業等の広報活動について、具体的なルールを作成し、各市町で共有を図る必要があるため、再度WG会議で仕組みづくりを検討すること。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	

平成30年度[魚沼地域定住自立圏]事業振返りシート

平成30年度	事業番号 381	事業名	職員の人材育成のための合同研修
---------------	-------------	-----	-----------------

① 事業概要

・各市町で主催している独自の職員研修を、圏域内の職員を対象として合同で実施する。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

- ・研修内容、スケジュールの具体化が必要
- ・全職員を対象としたテーマ設定は難しい
- ・ある共通テーマについて、ワーキンググループ会議的なものが望ましいのではないか

③ 「KPI」の現在把握値

職員研修参加者数	1,570 人	(備考)	
----------	---------	------	--

④ 今年度に達成する事項 **⑤ 左記の実施状況 (A,Bいずれかを選択)**

今年度に達成する事項	実施状況
1 研修の対象、具体的なスケジュールの決定	B
2 研修の実施	B
3 —	
4 —	

A…今年度中に完了
B…今年度中に完了せず

⑥ *⑤「左記の実施状況」でBを選択した場合は要記載

	今年度中に完了しなかった理由	来年度に取り組むべきこと (課題)
1	具体的に何を研修テーマとするかということが設定できなかった。何を目標とするかによって、大きく内容が変わってくるため、テーマ設定が難しい。	研修内容の検討を行う。研修テーマの設定が難しい。
2	研修テーマが決まらないので、実施に至らなかった。	

⑦ 事業実現までの進捗状況 (1~4のうちいずれかを選択)

1	4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している 3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階 2…関係者を含めた調整段階 1…構想段階、検討段階であり事業実施の目途は立っていない
----------	---

⑧ (あれば記載) 事業を進める上での障害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

- ・実施自体に障害要因はないと思うが、研修テーマの設定が難しい。(南魚沼市)
- ・共通テーマで実施した場合、実施費用等については、効果が見込めるが、職員の移動等に要する時間を考慮した場合、人件費の面から、これまで以上により市民にとって効果的なテーマでの研修が求められる。(今あるものを何でもいから実施することとは違うと考えられる。)(魚沼市)

⑨ 事業の実現可能性について（いつ頃の完了を見込んでいるのか、困難度は）（1～4のうちいずれかを選択）

3	4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる（or既に実現している） 3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる 2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難 1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能
【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3,4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか（実現したか）記載】	
圏域を対象とした共通テーマの設定が難しいが、研修内容や対象者を具体化できれば平成31年度に実現も可能と思う。（南魚沼市）	

⑩ 広域連携のメリットについて（1～4のうちいずれかを選択）

2	4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる（or既に連携が行われている。） 3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される 2…連携による効果が小さく、現行と大差がない 1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。
【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】	
・圏域職員同士のつながりができる、広域連携について考えるという面では連携のメリットはあると思うが、研修は各市町でも行っているため、合同研修を実施することでの住民に対する効果は現行と大差ないと考える（南魚沼市） ・移動等に要する人件費を考慮すると、単独開催が難しく、より市民サービスに貢献できる内容での実施が求められるため、連携効果は小さいと考えられる（魚沼市） ・圏域職員同士のつながりにより共通する課題の情報共有が図られることから、職員間における連携の効果は期待できると思うが、各市町において各種研修は行っており、合同研修を実施することによる直接的な住民に対する広域連携の効果は少ないものと考えられる。（湯沢町）	

⑪ 人材育成の観点から（1～4のうちいずれかを選択）

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する（定住自立圏の場合は人材育成に有効） 3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場は必要だと感じている（定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある） 2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができてきている（定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない） 1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない（定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない）
-----------------------	--

市町名		【1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】
南魚沼市	4	
魚沼市	4	
湯沢町	4	

⑫ 確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	総務課	課長	高橋 悟	
魚沼市	総務課	課長	森山 徳裕	
湯沢町	総務部	部長	高橋 功	

以下事務局記載欄

今後の進め方			
事務局案	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	・職員のスキルアップが住民サービスの向上に繋がることを踏まえ、合同研修にこだわることなく、WG会議等で各市町の研修実績の情報共有を図るなど、可能な取組を検討すること。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	

平成30年度[魚沼地域定住自立圏]事業振返りシート

平成30年度	事業番号 3811	事業名	移住・定住・地域交流総合プロデューサー人材育成事業
---------------	--------------	-----	---------------------------

① 事業概要

・圏域全体を総合的にプロデュースする地方創生コンシェルジュ人材（地域おこし協力隊、集落支援員など）を育成し、集落ネットワーク圏（小さな拠点）と、魚沼地域定住自立圏構想を推進する。

② 現状・事業の進行にあたっての課題

- ・広域で取り組むことの意義が曖昧。
- ・各市町が独自色を出しながら移住定住に取り組んでいる中で、圏域全体を総合的にプロデュース可能な人材の育成は、相当な時間を要し困難である。
- ・具体的な目標と取組内容が見出しづらい。

③ 「KPI」の現在把握値

(未定)	—	(備考)	
------	---	------	--

④ 今年度に達成する事項 **⑤ 左記の実施状況** (A,Bいずれかを選択)

1	・本事業の目的を再度確認し具体的な取組を検討する。	B	A…今年度中に完了 B…今年度中に完了せず
2	・若者や各団体など地域で活躍する人材の育成に努め、圏域連携の基礎固めをする。	B	
3	・2市1町で活躍している地域おこし協力隊や集落支援員の情報交換の場を設けることから始める。	B	
4	・各団体連携のきっかけづくりを行い、自主的な交流に発展するよう取組む。（交流会の開催等）	B	

⑥ *⑤「左記の実施状況」でBを選択した場合は要記載

	今年度中に完了しなかった理由	来年度に取組むべきこと（課題）
1	圏域全体での目指すべき方向性が見出せず、協議も停滞した。	取り組み可能か再検討し、事業自体を見直す。
2	上記の理由に関連し、具体的な対象や手法の協議には至らなかった。	取り組み可能か再検討し、事業自体を見直す。
3	会議の目的やテーマ等に具体性を欠き、日程調整まで至らなかった。	取り組み可能か再検討し、事業自体を見直す。
4	各市町における構成等の相違もあり、自主的な交流に繋がらなかった。	取り組み可能か再検討し、事業自体を見直す。

⑦ 事業実現までの進捗状況 (1～4のうちいずれかを選択)

1	4…既に達成すべき連携事業を実施している、または、そのほとんどを実施している 3…達成すべき事業の開始に向けた準備段階 2…関係者を含めた調整段階 1…構想段階、検討段階であり事業実施の用途は立っていない
----------	---

⑧ (あれば記載) 事業を進める上での障害要因、他ワーキンググループや他部署への要望事項

・ 事業目的が広範囲で、効果も抽象的な内容に留まる。

・

・

⑨ 事業の実現可能性について（いつ頃の完了を見込んでいるのか、困難度は）（1～4のうちいずれかを選択）

2	4…実現可能であり、関係者との調整も進んでいる（or既に実現している） 3…実現可能性はあるが、関係者との調整等が今後必要となる 2…実現可能性が低く、当初目的の達成は困難 1…実現可能性は考えられず、当初目的の達成は不可能
----------	---

【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3,4を選んだ場合はいつ頃に実現可能となるか（実現したか）記載】

人材の発掘や育成については、各市町でも関係団体との連携の在り方や協働の方法について、試行錯誤を繰り返しながら模索している状態であり、現状において圏域全体での取組とするのは難しい。また、行政主導で進めるよりも民間組織や人材の自主的な動きを勘案しながら、タイミングを見計らって支援に繋げて行く方が効果的と考える。

⑩ 広域連携のメリットについて（1～4のうちいずれかを選択）

1	4…市町単独で行うより連携した方が全体的な効果が期待できる（or既に連携が行われている。） 3…連携による効果は期待できるが、その範囲は一部の地域や年齢の者に限定される 2…連携による効果が小さく、現行と大差がない 1…連携による効果が期待できず、市町単独で行った方が効果がある。
----------	---

【上記で1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由、3を選んだ場合はメリットのある特定の範囲について記載】

各市町の状況から、現段階において広域連携で取り組むメリットは少ない。民間組織や人材の自主的活動から発展する支援のきっかけに期待し、各市町は独自の取組の中で機運の醸成を図って行くことを優先したい。

⑪ 人材育成の観点から（1～4のうちいずれかを選択）

(2市1町ごとに下の欄へ記入してください)	4…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマが存在する（定住自立圏の場合は人材育成に有効） 3…2市1町間で情報交換や認識の共有を行ったり、協議を行う必要のあるテーマは存在しないものの、2市1町担当間の交流の場合は必要だと感じている（定住自立圏の場合は今後の人材育成に有効となる可能性がある） 2…定住自立圏以外に職員交流の場があり、その場で十分な情報交換等ができている（定住自立圏の場合は人材育成にあまり有効でない） 1…担当分野について2市1町間の交流、情報交換の場は必要ない（定住自立圏の場合は人材育成に有効とならない）
-----------------------	---

市町名 **【1,2を選んだ場合は必ずその詳細な状況や理由を記載】**

南魚沼市	2	民間団体等の交流から発展する取組みに委ねたい。圏域での取組は情報交換に留まる。
魚沼市	3	職員間で情報交換を行うことは、お互いの取組みを共有できるというメリットがある。
湯沢町	1	相当な時間を要するため、定住自立圏の場で行える範囲ではないと思われる。

⑫ 確認者の所属・氏名 *このシート内容は、必ず各市町担当課の部長もしくは課長から確認を受けてください。

市町名	所属	役職	氏名	(あれば記載) 備考・コメント
南魚沼市	総務部UIときめき課	課長	立川 一成	
魚沼市	企画政策課企画政策室	室長	吉澤 国明	
湯沢町	総務部企画政策課	課長	富沢 雅文	

以下事務局記載欄

今後の進め方			
事務局案	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(備考)	・広域連携による住民のメリットを再整理し、圏域での総合的な人材の育成が困難であれば、情報交換、人材育成の機会としてWGを残すかどうかを協議すること。
懇談会意見	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部見直しのうえ継続 <input type="checkbox"/> 見直し	(備考)	